

安全データシート

焼ミョウバン（食品添加物）

作成日：2004/10/26
改訂日：2021/10/06

1 化学品等及び会社情報

化学品等の名称	焼ミョウバン（食品添加物）
会社名	大成薬品工業株式会社
住所	福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1
担当部門	管理本部
電話番号	0942-53-4662
FAX番号	0942-52-8115
緊急連絡先	管理本部 電話番号 0942-53-4662
整理番号	TPC00122

2 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない若しくは分類できない
健康に対する有害性	区分に該当しない若しくは分類できない
環境に対する有害性	区分に該当しない若しくは分類できない
GHSラベル要素	
絵表記	非該当
注意喚起語	非該当
危険有害性情報	非該当
注意書き	非該当

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	硫酸アルミニウムカリウム (Aluminum potassium sulfate)
別名	焼ミョウバン、硫酸アルミニウムカリウム無水物、乾燥硫酸アルミニウムカリウム
濃度又は濃度範囲	96.5%以上
分子式（分子量）	AlK ₂ O ₈ S ₂ (258.21)
化学特性（示性式又は構造式）	$\begin{array}{ccccc} & \text{O} & & \text{Al}^{3+} & & \text{O} \\ & & & & & \\ \text{O}^- & \text{S} & \text{O}^- & & \text{O}^- & \text{S} & \text{O}^- \\ & & & \text{K}^+ & & \\ & \text{O} & & & & \text{O} \end{array}$
CAS番号	10043-67-1
官報公示整理番号（化審法）	(1)-25 (硫酸アルミニウム)、(1)-454 (硫酸カリウム)
官報公示整理番号（安衛法）	硫酸アルミニウム、硫酸アルミニウム：既存
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし

4 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
--------	---

皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。
眼に入った場合	皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。 口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	経口：胃腸管の刺激による悪心、嘔吐、腹痛、下痢 濃厚な液は局所を腐食して炎症をまねく。
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別注意事項	データなし

5 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	火災によって刺激性、有毒なガス、ヒュームを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に入る前に換気する。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 二次災害の防止策：プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 「8ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱注意事項	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 粉じんの拡散を防ぐこと。
接触回避	「10安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 容器を密閉して、湿気のない換気の良い冷所で保管すること。 混触危険物質から離しておくこと。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

8 ばく露及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	

日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	設定されていない TLV-TWA：2mg/m ³ （アルミニウムとして） この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼・顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	粉じん、ガス、蒸気、スプレーを発生する場合は、適正な保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼・顔面用の保護具を着用すること。 適切な保護衣を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	固体（白色粉末）
色	無色～白色
臭い	無臭
融点、凝固点	92.5℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界又は 可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	650℃以上（約300℃で無水物となり、650℃以上で分解して有毒な硫黄酸化物（SO _x ）を発生、950℃で酸化アルミニウムと硫酸カリウムになる。）
pH	3.3-3.5（100g/L, H ₂ O, 20℃）
動粘性率	データなし
溶解度	5.9g/L（H ₂ O, 20℃） エタノールに不溶、グリセリンに徐々に溶ける。
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度又は相対密度	2.688（20℃）
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の取扱いで安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤と混触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	燃焼等で熱分解すると、有毒な硫黄酸化物（SO _x ）を発生する。

11 有害性情報

急性毒性 経口	イヌ LD ₅₀ 30～50g ¹⁾ 、ネコ LD ₅₀ 5～10g ¹⁾ このデータに基づき、区分に該当しないとした。
経皮	データがなく分類できない
吸入：気体	GHS定義による気体ではないので区分に該当しない。
吸入：蒸気	データがなく分類できない。
吸入：粉じん及びミスト	データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	皮膚に付着すると、刺激が現れることがあるとの報告があるが、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は	眼に入ると、刺激、炎症を生じるとの報告があるが、データ不足のため分類できない。

眼刺激性	
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	IARC、ACGIH、NTP 及び EPA のリストに記載されていない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データがなく分類できない。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

1 2 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	データがなく分類できない。
水生環境有害性 長期（慢性）	データが
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理すること。 廃棄物の処理を委託する場合は、処理業者等に危険性、有害性を十分告知のうえ処理を委託すること。
汚染容器及び包装	

1 4 運送上の注意

国連番号	非該当
国際規制	非該当
国内規制	非該当
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条）（アルミニウム水溶性塩） 名称等を通知すべき危険有害物（法第 57 条の 2 第 1 項、施行令第 18 条の 2） リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第 57 条の 3）
水質汚濁防止法	指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3 第 44 号）（アルミニウム及びその化合物）
水道法	水質基準項目（法第 4 条第 3 項、水質基準に関する省令）（アルミニウム及びその化合物）
食品衛生法	指定添加物（法第 12 条、規則第 12 条別表第 1）

1 6 その他の情報

参考文献	1)食品添加物公定書解説書（第 8 版） 廣川書店 NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (https://www.nite.go.jp) CERI：一般財団法人 化学物質評価機構 (https://www.cerij.or.jp) 厚生労働省：職場のあんぜんサイト (https://anzeninfo.mhlw.go.jp) 国際化学物質安全性カード（ICSC）日本語版：国立医薬品食品衛生研究所 (https://www.nihs.go.jp)
------	--

本安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。

取扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置を講ずることが必要であることを理解したうえで、活用されるようお願いします。

従って、本製品安全データシートは、いかなる安全の保障をするものではありません。